

MSCI のネットゼロ・トラッカーによると上場企業は 1.5 度目標に整合するには 6 年未満の猶予しかない 見通し

*四半期毎に発行予定の MSCI のネットゼロ・トラッカーは、上場企業のパリ協定目標
に対する進捗と対応が進んでいる企業ならびに遅れている企業を示した*

東京 - 2021 年 7 月 13 日 - 世界の機関投資家の重要な投資判断を支援するツールとサービスを提供している MSCI の最新の四半期ネットゼロ・トラッカーは、世界的上場企業が 2015 年パリ協定の気温上昇を 1.5 度に抑える目標を達成するためには、気候変動に対する取り組みをさらに加速させる必要があることを明らかにしました。

気候変動は世界の最優先課題として取り組まれています。ネットゼロ・トラッカーの試算では、世界的上場企業の年間 CO2 排出量は 2013 年と同レベルとなっています。世界共通の長期目標として 2 度目標を設定し、1.5 度に抑える努力を追求する 2015 年パリ協定をトラッカーは包括しています。特に MSCI のネットゼロ・トラッカーは次の点を浮き彫りにしています。上場企業は：

- 2021 年 5 月 31 日時点で温室効果ガスの直接排出量として年間 10.9 ギガトンを出している
- 1.5 度という閾値を超えないために、二酸化炭素換算量で 61.4 ギガトン内のカーボン・バジェットを保持する必要がある
- 現在の排出量を変えなければ、6 年未満にカーボン・バジェットを使い切る見通しである

MSCI のヘンリー・フェルナンデス会長兼最高経営責任者 (CEO) は、次のように述べています。「ネットゼロ革命を成功させるためには、投資家、企業、金融機関、政策決定者が協調しながら持続可能な未来に向かって世界を変えることが重要です。2015 年パリ協定より早急な取り組みが求められています。MSCI ネットゼロ・トラッカーは、世界の気温上昇が 1.5 度以内に抑えられているか、その進捗を捉えています。上場企業や資本市場の参加者は目標を達成するのに 6 年未満しかありません。」

「ネットゼロへの移行を牽引する上場企業の取り組みに加えて、資産保有者による資本の再配分と資産運用者や銀行による効果的な資金の充当が必要です。大きな気候災害を防ぐために全ての人々が役割を果たすことで、世界の気候変動リスクを減らせるでしょう。」

MSCI のネットゼロ・トラッカーは、MSCI オール・カンントリー・ワールド・インベスタブル・マーケット・インデックス (MSCI ACWI IMI) に基づいて世界 9,300 社の上場企業の気候変動進捗を四半期ごとに測定し、結果を提供しています。ネットゼロ・トラッカーは業界で対応が進んでいる上場企業や遅れている上場企業に焦点をあてながら、気温目標への取り組みへの進捗を提供し、投資家と政策決定者への透明性を確保します。最新のレポートは以下を示しています：

- エアバス SE、バイドゥ、ブリティッシュ・アメリカン・タバコを含む有名上場企業が初めて間接排出量 (スコープ 3) を公表したが、全ての企業が包括的な情報開示をしているわけではない
- ウェストパック銀行、ブックイング・ドットコムオペレーターであるブックイング・ホールディングス、カヤック、オープンテーブルは直接・間接排出量の総計の一部のみを公表

- プロクター・アンド・ギャンブル、ASML ホールディングは、前四半期に追加スコープの公表を開始し、現在ほぼ全ての関連するカテゴリー（スコープ1, 2, 3）を公表している
- コール・インディアは温室効果ガス排出に関する情報を全く公表していない最大の排出企業である

MSCI の ESG と気候変動のグローバル・ヘッドであるレミー・ブライアンドは次のように述べています。「MSCI ネットゼロ・トラッカーは気候変動の議論に新たなレベルの透明性を提供しています。投資家に、上場企業のカーボンフットプリントの削減計画や、ポートフォリオと 2015 年パリ協定目標との整合性の可視化を可能にします。ネットゼロ・トラッカーのデータは世界の上場企業が気候変動に対する取り組みを加速することの必要性を示しています。コミットメントを満たしていない企業や対応が遅れている企業の取り組みが求められています。」

-Ends-

MSCI について

MSCI は世界の投資コミュニティに重要な投資判断支援ツールとサービスを提供するリーディングプロバイダーです。50 年以上にわたるリサーチ、データ、テクノロジーの専門知識を有する当社は、クライアントがリスクとリターンの重要な要因を理解して分析し、確信を持ってより効果的なポートフォリオを構築できるようにすることで、より良い投資判断を支援します。当社は業界をリードするリサーチによって強化されたソリューションを構築し、クライアントはこれを用いて投資プロセス全体を把握し、透明性を高めることができます。

注釈

温室効果ガス排出に関する情報を開示していない最大の排出企業

下記の表は MSCI の排出量推定値*に基づく、2021 年 5 月 31 日時点で温室効果ガス排出量を全く公表していない最大の排出企業トップ 10 社を示している。

Issuer	Emissions Reference Year	GICS® Industry	Total emissions (estimated) [t CO2e]
COAL INDIA**	2019	Energy	1,020,007,692
SURGUTNEFTEGAZ PAO	2019	Energy	206,485,930
SHAANXI COAL INDUSTRY	2019	Energy	200,839,903
CHINA STATE CONSTRUCTION ENGINEERING	2019	Industrials	92,647,675
SHAANXI COKING COAL GROUP	2019	Energy	82,534,966
SDIC POWER HOLDINGS	2019	Utilities	80,799,088
PBF ENERGY	2019	Energy	77,406,962
SHAANXI LUAN	2019	Energy	73,668,239
GREENLAND HOLDINGS	2019	Real Estate	21,133,414
ZHEJIANG CENTURY HUATONG GROUP	2019	Communication Services	5,384,905

* MSCI のスコープ 1、2、3 排出量推定値の合計

** コール・インディアの総排出量は主にスコープ 3 排出量（1,003,930,316 トン）から構成される。スコープ 1 と 2 の排出量の合計は 16,077,375 トンである。

排出量に関する報告が改善した上場企業

下記の表は MSCI ACWI IMI で、2021 年 5 月 31 日までの 12 カ月間に温室効果ガス排出の追加的なスコープやカテゴリーを公表した時価総額トップ 15 社を示している¹。

Issuer	Previously reported, newly reported and unreported scopes and categories ² (as of May 31, 2021)	Total reported emissions [tons CO2e] (as of May 31, 2021)	Total emissions (reported and estimated) [tons CO2e] (as of May 31, 2021)	Sum of reported emissions vs. MSCI estimated total emissions [%] ³	Comments
PROCTER & GAMBLE	Scope 1 Scope 2 Scope 3 Scope 3 Category 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15	252,024,430	252,024,430	100%	Reports fully across all emissions scopes and categories
ASML HOLDING	Scope 1 Scope 2 Scope 3 Scope 3 Category 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15	8,555,200	8,555,200	100%	Reports fully across all emissions scopes and categories
ANHEUSER-BUSCH INBEV	Scope 1 Scope 2 Scope 3 Scope 3 Category 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15	30,393,747	43,031,538	71%	Majority of value chain (Scope 3) emissions reported
HERMES INTERNATIONAL	Scope 1 Scope 2 Scope 3 Scope 3 Category 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15	520,996	2,824,119	18%	Has yet to report some value chain (Scope 3) emissions; missing downstream
COMMONWEALTH BANK OF AUSTRALIA	Scope 1 Scope 2 Scope 3 Scope 3 Category 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15	161,519	35,285,004	<1%	Has yet to report most value chain (Scope 3) emissions; missing financed emissions as a large component
AIRBUS	Scope 1 Scope 2 Scope 3 Scope 3 Category 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15	1,090,929	31,523,885	3%	Has yet to report most value chain (Scope 3) emissions
BYD	Scope 1 Scope 2 Scope 3 Scope 3 Category 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15	4,145,179	26,719,055	16%	Has yet to report most value chain (Scope 3) emissions
BOOKING HOLDINGS	Scope 1 Scope 2 Scope 3 Scope 3 Category 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15	55,923	15,725,516	<1%	Has yet to report most value chain (Scope 3) emissions
BRITISH AMERICAN TOBACCO	Scope 1 Scope 2 Scope 3 Scope 3 Category 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15	8,306,684	8,485,050	98%	Majority of value chain (Scope 3) emissions reported
WESTPAC BANKING	Scope 1 Scope 2 Scope 3 Scope 3 Category 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15	199,520	11,966,470	2%	Has yet to report most value chain (Scope 3) emissions; missing financed emissions as a large component
ATLAS COPCO	Scope 1 Scope 2 Scope 3 Scope 3 Category 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15	427,651	5,524,112	8%	Has yet to report most value chain (Scope 3) emissions
INVESTOR AB	Scope 1 Scope 2 Scope 3 Scope 3 Category 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15	284,722	325,806	87%	Majority of value chain (Scope 3) emissions reported
EQUINOR	Scope 1 Scope 2 Scope 3 Scope 3 Category 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15	272,495,398	277,995,760	98%	Majority of value chain (Scope 3) emissions reported
BAIDU	Scope 1 Scope 2 Scope 3 Scope 3 Category 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15	490,537	1,944,163	25%	Has yet to report most value chain (Scope 3) emissions beyond employee commuting, business travel
BIAYER	Scope 1 Scope 2 Scope 3 Scope 3 Category 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15	12,620,000	24,320,199	52%	Has yet to report some value chain (Scope 3) emissions beyond employee commuting, business travel.

¹ 以前公表されたスコープとカテゴリー

^① 新たに公表されたスコープとカテゴリー

¹ 未公表のスコープとカテゴリー(2021年5月31日時点)

¹ 2021年5月31日時点のMSCI ACWI IMIの浮動株時価総額比で分類された企業のリストである。

² スコープ1、2、3のカテゴリーは用語集で定義されている。

³ 企業は実用的なスコープ3のカテゴリーの排出量を公表している。MSCIではスコープ3の15のカテゴリー全ての排出量を見積もるための企業独自のモデルを使って、公表・推定データを組み合わせて企業の排出量フットプリントの総計を算出している。

メディアの問い合わせ先

Rachel LAI

rachel.lai@msci.com

+852 6028 7161

MSCI 広報代理 (Citigate Dewe Rogerson)

MSCIJapan@citigatedewerogerson.com

+81 (0)70 2170 8818

This press release contains forward-looking statements within the meaning of the Private Securities Litigation Reform Act of 1995. Forward-looking statements relate to future events or performance and involve risks that may cause actual results or performance differ materially and you should not place undue reliance on them. Risks that could affect results or performance are in MSCI's Annual Report on Form 10-K for the most recent fiscal year ended on December 31 that is filed with the SEC. MSCI does not undertake to update any forward-looking statements. No information herein constitutes investment advice or should be relied on as such. MSCI grants no right or license to use its products or services without an appropriate license. MSCI MAKES NO EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE OR OTHERWISE WITH RESPECT TO THE INFORMATION HEREIN AND DISCLAIMS ALL LIABILITY TO THE MAXIMUM EXTENT PERMITTED BY LAW.